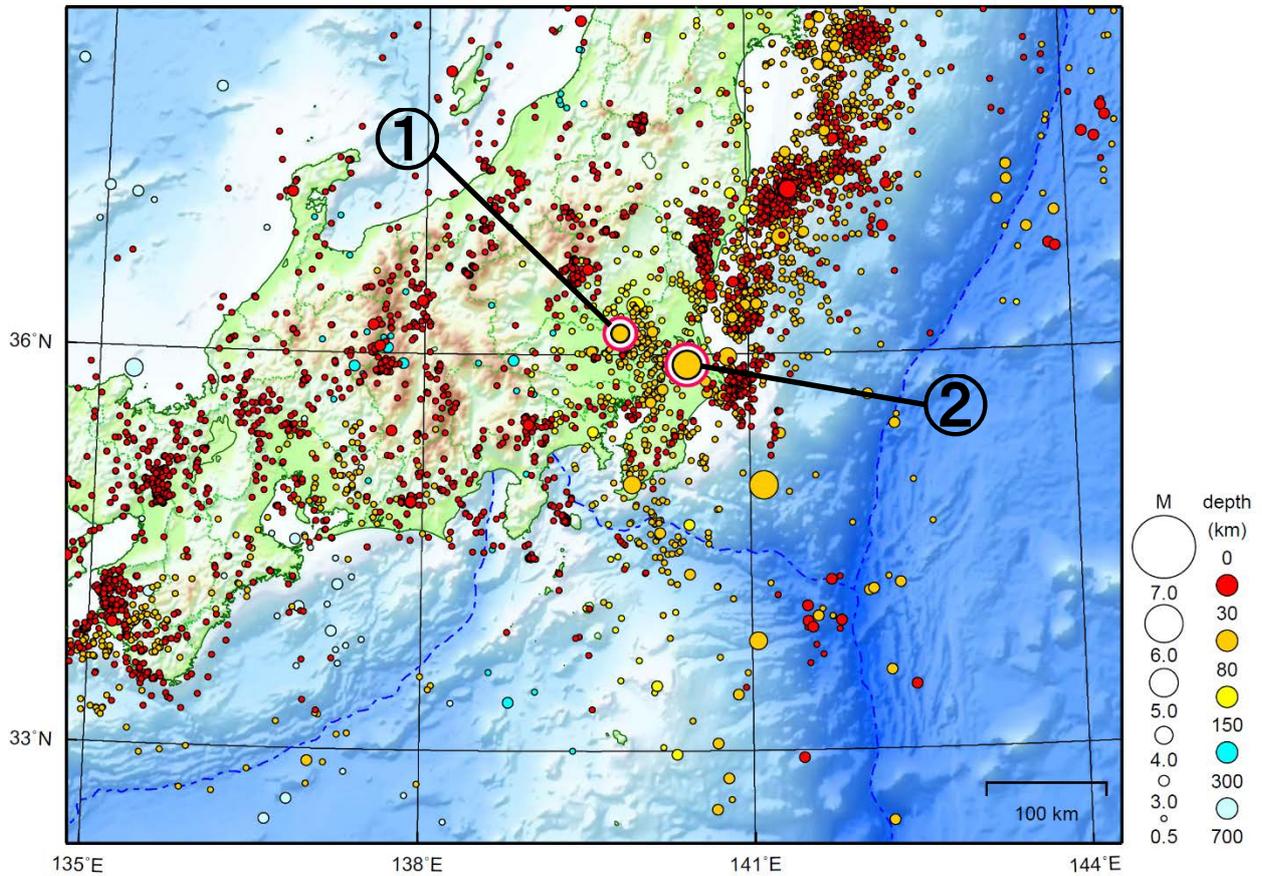


関東・中部地方

2019/01/01 00:00 ~ 2019/01/31 24:00

N=5161



地形データは日本海洋データセンターのJ-EGG500、米国地質調査所のGTOP030、及び米国国立地球物理データセンターのETOPO2v2を使用

- ① 1月14日に茨城県南部でM4.9の地震（最大震度4）が発生した。
- ② 1月18日に茨城県南部でM5.3の地震（最大震度3）が発生した。

情報発表に用いた震央地名は[千葉県北東部]である。

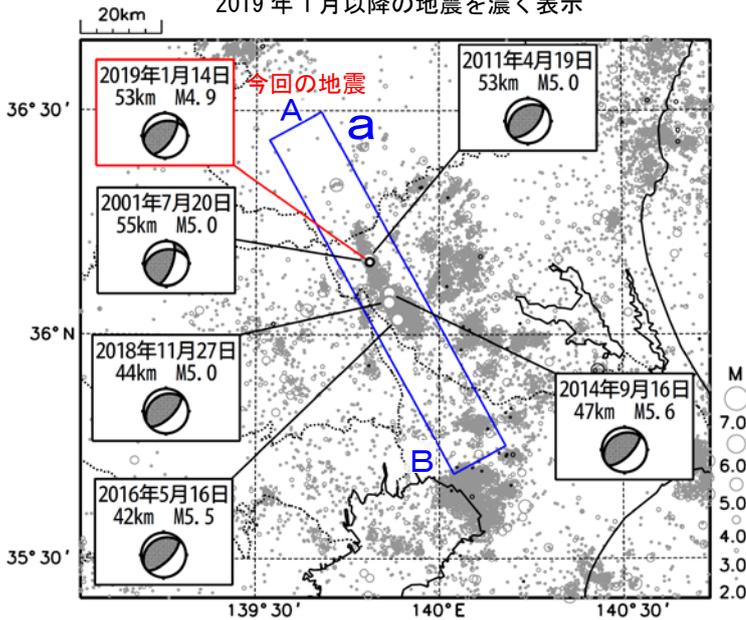
[上述の地震はM6.0以上または最大震度4以上、陸域でM4.5以上かつ最大震度3以上、海域でM5.0以上かつ最大震度3以上、その他、注目すべき活動のいずれかに該当する地震。]

1月14日 茨城県南部の地震

震央分布図

(1997年10月1日～2019年1月31日、
深さ0～100km、 $M \geq 2.0$)

2019年1月以降の地震を濃く表示

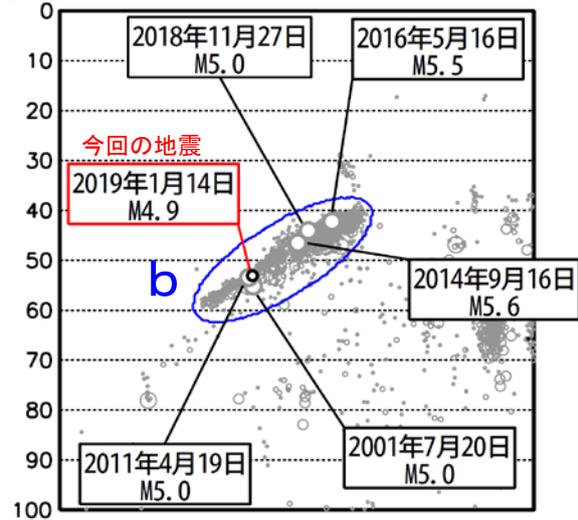


2019年1月14日13時23分に茨城県南部の深さ53kmでM4.9の地震(最大震度4)が発生した。この地震は、発震機構が北西-南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、フィリピン海プレートと陸のプレートの境界で発生した。

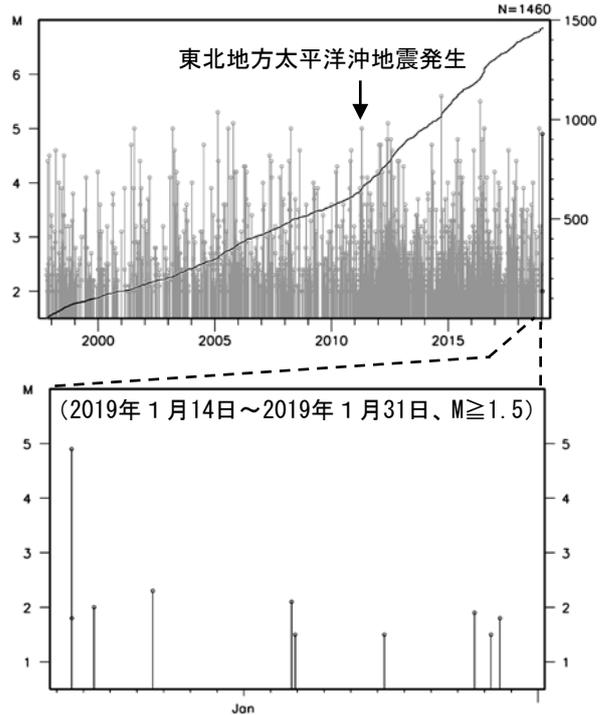
1997年10月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近(領域b)は、活動が活発な領域で、M5.0以上の地震がしばしば発生しており、今回の地震の発生場所の近くで、2014年9月16日にM5.6の地震(最大震度5弱)、2016年5月16日にM5.5の地震(最大震度5弱)が発生している。また、最近では、2018年11月27日にM5.0の地震(最大震度4)が発生している。

1923年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺(領域c)では、M6.0程度の地震が時々発生している。

領域a内の断面図 (A-B投影)

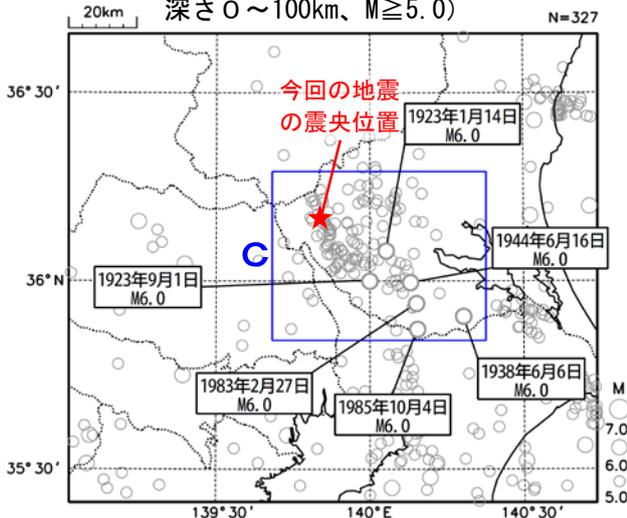


領域b内のM-T図及び回数積算図

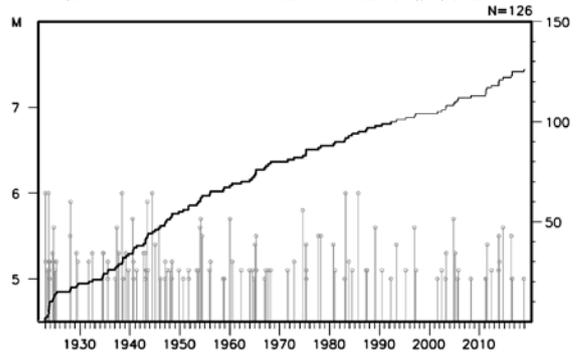


震央分布図

(1923年1月1日～2019年1月31日、
深さ0～100km、 $M \geq 5.0$)



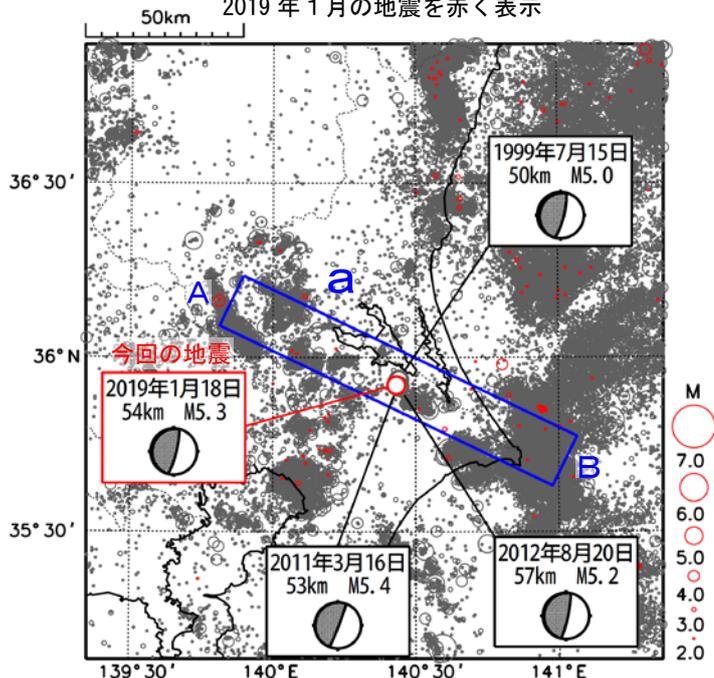
領域c内のM-T図及び回数積算図



1月18日 茨城県南部の地震

情報発表に用いた震央地名は〔千葉県北東部〕である。

震央分布図
(1997年10月1日～2019年1月31日、
深さ0～100km、M \geq 2.0)
2019年1月の地震を赤く表示

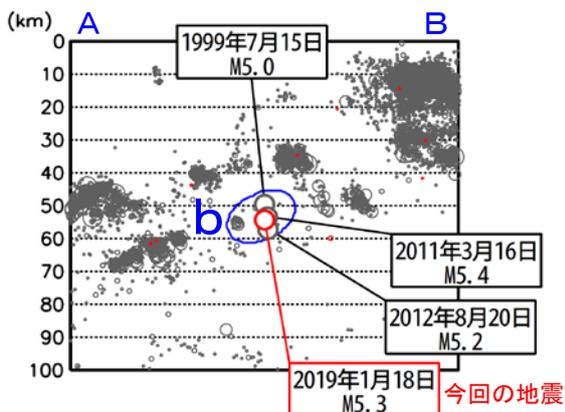


2019年1月18日21時46分に茨城県南部の深さ54kmでM5.3の地震 (最大震度3) が発生した。この地震は、発震機構が西北西-東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、太平洋プレートとフィリピン海プレートの境界で発生した。

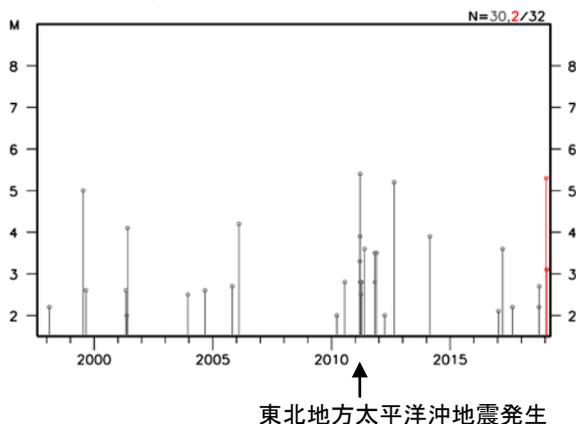
1997年10月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近 (領域b) では、M4.0以上の地震が時々発生している。このうち、最大の地震は、2011年3月16日のM5.4の地震 (最大震度4) である。

1923年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺 (領域c) では、M5.0以上の地震が時々発生している。1983年2月27日に発生したM6.0の地震 (最大震度4) では、負傷者11人、茨城県で住家一部破損111棟などの被害が生じた。(被害は「日本被害地震総覧」による。)

領域 a 内の断面図 (A-B 投影)

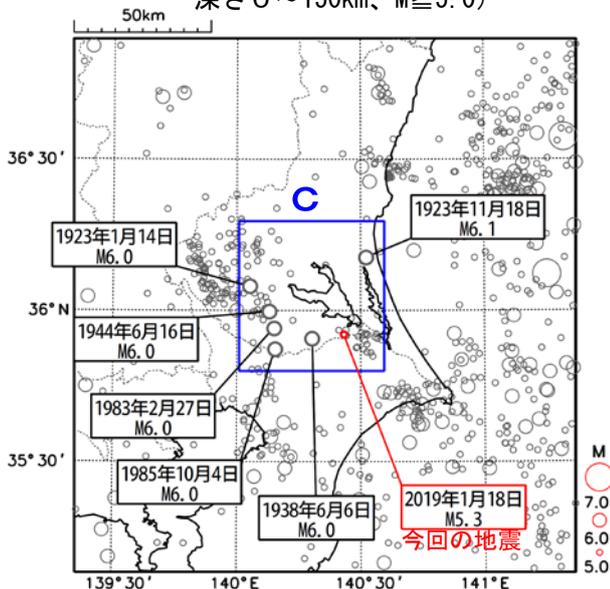


領域 b 内の M-T 図



震央分布図

(1923年1月1日～2019年1月31日、
深さ0～150km、M \geq 5.0)



領域 c 内の M-T 図

